

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS × KANDA

### ゴール10「人や国の不平等をなくそう」

10 人や国の不平等をなくそう



世界には、国籍、民族、宗教、性別、障がいの有無など、本人には全く責任のない理由により、不平等を被り、差別を受けている人がいます。不平等と一言と言っても所得格差や社会保障、教育など例を挙げればきりがありません。

げればきりがありません。

このような不平等は先進国と途上国のような国単位の間だけでなく、同じ国や地域の中でも生まれています。

また、都市部と農村部を比べても格差があり、中には貧困率の差が3倍を超えるところもあります。日本でも、一人親世帯や高齢者の所得格差が拡大しており、相対的貧困（令和3年8月25日号で紹介しています）が大きな問題となっています。

不平等の問題は国レベルで見るとはならず、地域レベルで見ると、埋もれてしまった格差を浮き彫りにすることができます。

移民に対する差別も大きな問題の一つです。自分の国に宗教や文化、慣習などが異なる人がいることに対して、差別意識が芽生え、不平等な扱いをする人も少なくありません。お互いの違いを認め合い、様々な人が共存できる社会をつくる必要があります。

#### ゴール10 苅田町の取り組み

今年3月に「互いを理解し 支え合い みんなが幸せに暮らせる 多文化共生のまち 苅田」を基本理念とした「苅田町多文化共生推進プラン」を策定しました。製造業等の企業が多い苅田町には多数の外国人技能実習生がおり、平成29年中には全国で最も外国人が増加した町になるなど、多文化共生のまちづくりは喫緊の課題です。このプランを基に、外国人住民と日本人住民の交流や相談体制の充実、学校教育での多文化共生の推進等を図り、多様な文化を持つ人たちが尊重し合い、安心して暮らすことのできる苅田町の実現を目指します。

#### ゴール10 私たちにできること

募金活動のような直接的な支援もこの問題解決に繋がる大切な手段ですが、何よりもまずは、私たち一人ひとりが、国籍や人種、宗教など、お互いの違いを認め合い、理解することが大切です。

### news 「ゼロカーボンシティ 苅田」を宣言しました

苅田町では6月3日、2050年までに二酸化炭素実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。この目標の実現に向け、町民や事業者の皆様と一体となり、取り組みを推進します。

#### ■ゼロカーボンシティとは／

2050年にCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）を実質ゼロにすることを目指す旨を、首長自らがまたは地方自治体として公表された地方自治体のことを指します。

